



行為の意味

お前、俺の飼い主ならば・・・

このフレーズにピンと来た人もたくさんいるのではないのでしょうか？ これは、ペットの適正飼育を訴えるCMで、さだまさしさんが歌う「にゃんぱく宣言」の冒頭の歌詞です。外出自粛を受け、家にいる機会が増えたみなさんは、テレビから聞こえてくるこの歌声を聞かない日はないくらいではないのでしょうか？

このCMは公益社団法人「ACジャパン」が作成したもので、日本動物愛護協会の活動を支援したものです。CMは、かわいらしい猫の映像と温かい歌声にほっこりするものになっています。しかし、CMの訴える適正飼育は、社会問題になっているということも忘れてはなりません。このCMが、多頭飼育崩壊などニュースなどでも耳にする問題について、多くの人が考えるきっかけになるといいです。



さて、このCM、放送が開始されたのは昨年7月でした。今年に入り、放送されない時期もありましたが、2月末以降、また登場回数を増やしています。そしてこの「ACジャパンのCMが増える」という現象は、別のある災害を思い出させます。2011年に起きた、東日本大震災です。あのときも同じように（というか今以上に）ACジャパンのCMが流れました。みなさんがまだ2・3歳の頃だったので覚えていないと思いますが、あの地震による甚大な被害は簡単には忘れられません。ちょうど東海大地震がそろそろ起こる頃だと頻繁に言われていた時期でもあったので、同じことが自分の身に降りかかったらどうしようかと、怖くもなりました。被災地では、未だに苦しい生活をされている方もいると思います。災害の爪痕は、あまりに大きいです。

この震災が起こった直後も、ACジャパンの2つのCMが繰り返し流れました。1つは「ポポポーン！」のフレーズが耳に残る『あいさつの魔法』。そしてもう1つは『見える気持ちに』です。この『見える気持ちに』は、宮澤章二さんの「行為の意味」という詩が題材になっています。

行為の意味

宮澤章二

あなたの〈こころ〉はどんな形ですか と ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも〈こころ〉は見えない けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに〈こころ〉はだれにも見えない けれど〈こころづかい〉は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の〈思い〉は見えない けれど〈思いやり〉はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき 〈心〉も〈思い〉も 初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ （『行為の意味』『結実の季節』より）



時代を超えて、今もなお輝きを放つ言葉に心が揺れます。この詩を書いた宮澤さんは、複数の学校の校歌を作詞したり、中学生向けの冊子に詩を寄稿したりと、みなさんのような若い世代にむけた言葉を多数遺しています。宮澤さんは、大震災よりも前の2005年に亡くなりましたが、彼の言葉は今もずっと私たちに語りかけてくれています。

コロナウイルスによる未曾有の事態に世界中が混乱している中ではありますが、今こそ「こころづかい」と「思いやり」を大切に、互いに互いを尊重し合いながら過ごせるといいですね。コロナウイルス自体にはもちろんのこと、そこから発生する不安や差別にも負けずに、今一度自身の行動や言葉遣いを考え直してみましょう。お笑い芸人の松本人志さんは「今日も自宅にいて何もなかった、いえいえ、今日も自宅にいてコロナを阻止しましたよ！」と発言したそう。前向きな考え方、素敵です。みなさんも、不安な気持ちに心を支配されないでください。